

ようこそ

百華の舞 はな同行



(上) ①本堂で盆踊り

(8月12日)

②③④本場鶴崎踊大会で
楽しく踊りました。

(8月26日)

(左) 本場鶴崎踊大会に出場した
円光寺ご門徒の皆さん
(大分市鶴崎公園グラウンド)

第 26 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL.097-527-6916

FAX097-527-6949

お念仏の輪になって踊ろう

円光寺では毎年八月十二日の夜に門徒初盆会をお勤めし盆踊り大会を開いています。境内駐車場に舞台を組み、生のお囃子にのって昔から地元につながる鶴崎踊を踊ります。今年は朝から雨模様で、本堂で行いました。阿弥陀如来さまの御尊前に大きな踊りの輪ができました。

お盆は歓喜会といひ、迷いの世界である餓鬼道からお母さんが救われて、踊りあがって喜んだという目連尊者の故事が盆踊りの由来だともいわれます。ご先祖有縁の方々を偲び、お念仏申して共に阿弥陀さまのお浄土に生まれ往く喜びいっぱいにお勤めする仏事です。本堂中に響き渡るお囃子に合わせて体いっぱい踊るご門徒衆を阿弥陀さまはやさしい眼差しであたたかく見まもってくださいているようでした。

八月二十六日(日)には円光寺から初めて本場の鶴崎踊大会に、「百華の舞」のチーム名で男女二十人が出場しました。四百五十有余年の歴史と伝統のある民俗芸能で、やぐらを囲んでたくさんの方が踊り八重の踊りの輪ができました。

親鸞聖人は「南無阿弥陀仏をとなふれば 十方無量の諸仏は、百重千重圍繞して よろこびまもりたまふなり」(現世利益和讃)と仏さまのお徳を讃えられていきます。信心をいただきお念仏申す人を、十方世界の数限りない諸仏方が幾重にもとり囲んでよろこび護ってくださいるといわれます。この諸仏こそ先に往かれたご先祖有縁の仏さまと味あわせていただきます。私のことをいつも思い護ってくださいることがよろこびだという仏さまが何ともたのもしく有難く思います。

大切な人との別れ・・・悲しいご縁ですが そのまま仏さまのご縁といただきますしよう

この人生は出会いと別れの繰り返し、会ったものは必ず別れなければならぬと、誰もが知ってはいますが、死を縁にいいよ肉親や友人、大切な人と最後のお別れをする時になって「何で、どうして」と嘆き悲しみ涙する私たちです。

お釈迦さまは愛別離苦といわれました。苦とは思いつりにならないということ、私の大切な人はいつまでも元気でいてほしいし、別れはもつともつと先のことでもいいのですが、死の縁は待ったなしで私たちを苦しめ悩まします。その事実をそのまま我が身に受け入れることは中々難しいことです。

臨終から通夜、葬儀、火葬と、二、三日が慌ただしく過ぎて、中陰という四十九日の期間に入ります。初七日から満中陰までお家のお仏壇でご遺族一緒にお勤めをし、ご法話をさせていただきます。悲しいご縁ですが、そのまま仏さまのご縁といただきますしようとお話します。

初めて仏さまのお話を聞く方が多くいます。学校では教えてくれませんし、お仏壇のないお家で生活するなかでは先人から

教わることも少なくなりました。特に通夜には他宗教・無宗教の方が多くお参りですが、厳粛な雰囲気の中で静かにお聴聞して下さっている様子がひしひしと伝わってきます。

大切な人との別れです。元氣だった日のことを思い出し、この世の無常に思いをいたすとき、深い悲しみに沈む私たちですが、その私たちをそのまま見捨てておけないへ必ず救う、まかせよVとおはたらきの南無阿弥陀仏の仏さまがいらつしやるとお取り次ぎさせていただきます。

人と人との別れは済みましたが、先に往かれた方がお浄土で仏さまと成って再び会えるご縁をいただく仏事です。だからこそ丁寧に精いっぱいお勤めさせていただきますましよう。

大切な方がまさに命がけでつくってくださった仏縁です。私たちの都合をはさむのではなく、仏さまのおはからいそのままをただだけばいいのです。何も私心配することはないのです。心配して下さるのは仏さまです。どうが仏法聴聞してくれよ、お念仏申す身になつてくれよと私たちにおはたらきです。



町角伝道掲示板 (10月のことば 仲町、清松博人・カツコご夫妻)

「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動)
総合テーマ



～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

お仏壇をきれいにお荘厳しましょう。お仏壇は阿弥陀さまのお浄土を表します。先に往かれた方もお浄土ならば後に残ったこの私たちもまた同じお浄土に生まれさせていただけると本願念仏のみ教えをたのもしく聞かせていただきます。

お念仏申すところ、時空を超えていのちみんなつながっていつしよと、この人生を共々に生き抜かせていただきますましよう。

世々生々

ノーベル医学生理学賞にiPS細胞(人工多能性幹細胞)を作製した山中伸弥京都大学教授の受賞が決まった。病气やけがで失われた組織や臓器をよみがえらせる再生医療や難病治療に大きな期待が寄せられているという◆近年科学技術の飛躍的な進歩は、夢のようなことを現実のものにして私たちの生活に多大な恩恵をもたらした。しかし一方で重い課題が突き付けられている◆その一つが生命倫理の問題。人間の生命誕生にも深く関わる近代医学は、人為的に生命を作り出すことも抹消することもできる◆ノーベル賞はダイナマイトを発明したノーベルの遺言で制定され、人類の福祉に顕著な功績があった人に毎年贈られている。ダイナマイトは道路やトンネルをつくつたが、使い方一つで大量殺戮と環境破壊の兵器にもなる◆原子力の開発は原子爆弾を造り、平和利用として原子力発電を進めたが、東日本大震災による福島原発事故は甚大な被害とともに深刻な問題を投げかけている◆人類の福祉とは、幸福とは一体何なのか。何のために私たちはこの世に生まれ生きているのか。人間存在の根源を仏さまのみ教えに問い聞いて、じっくり考え行動していかなければならないと思う。

お朝事「法話」より

人生の節目〜にお念仏

今日は私の六十歳の誕生日、
いよいよ還暦です。

還暦は干支が六十年で一回りし、生まれ年の干支に戻る節目だそう、還暦のお祝いの定番は赤いちゃんちゃんこ、赤ちゃんに還つて第二の人生をやり直すということなのでしょう。

還暦の還は、生還の還で、元居た所に還るといふことです。浄土真宗の教義は「阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する」と教章(私の歩む道)に示されています。

先にお浄土に往かれたお念仏の人が仏さまとなつてこの世に還つて来て、有縁の私たちを護り導くというおはたらきをされているというのです。

私たちは人間に生まれました。私が選んで生まれてきたわけではありません。気がついてみたら人間でした。そこは日本という国で、この時代でした。お父さんがこの人でお母さんがこの



ご門徒同行有縁の皆さんと一緒に「住職還暦ありがとう法座」をお勤めさせていただきました(10月3日)

人でした。そしてこの私でした。

このいのち恵まれました。この人間界は迷いの境界と仏さまは仰せです。過去世より何度も何度も生まれては死に、生まれては死にを繰り返して、生死流転の迷いの境界をめぐつてきたと仰せです。

そしてこのたび私は人間に生まれました。再び迷いの世界に放り出されたのです。しかしこの世で私たちは仏さまの尊いご縁に遇わせていただけると聞かせていただきます。私が頼りも頼みもないのに、迷いの私を見捨てることなく真実まことに見極めてくれよとお喚び声となつておはたらきの南無阿弥陀仏の仏さまです。

縁あつて私は浄土真宗のお寺に生まれました。お寺の中心に

ご案内

◆御正忌報恩講

11月26日(月) 13:00~15:00
同 19:00~21:00
(子どもほうおんこう)

11月27日(火) 11:00~15:00
同 19:00~21:00

11月28日(水) 10:00~12:00

◆常例法座

12月17日(月) 10:00~11:30

◆除夜会(鐘つき)

12月31日(月) 23:40より

◆元旦会

1月 1日(火) 除夜会に引続き

◆初法座

1月 2日(水) 10:00~11:00

◆常例法座(親鸞聖人祥月御命日)

1月16日(水) 10:00~11:30

◆常例法座

2月15日(金) 10:00~11:30

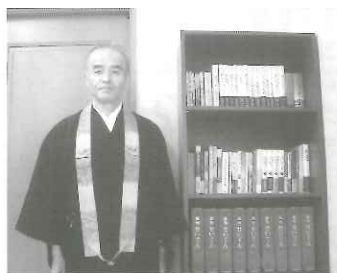
「月に一度は
お寺参りしましょう」

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。

はへ必ず救う、まかせよと立ち姿の阿弥陀如来さまがいらつしゃいます。お寺は聞法の道場、いつでもどこでも私について離れずご一緒の阿弥陀さまのご法義を聞かせていただき、ご門徒同行の皆さんがお念仏を申して本心に心安らぐところです。

今私はお寺の住職をさせていただいています。まさに弘誓の強縁、いよいよ仏法を聞いて本願念仏に生きる身となり、生死流転の苦を超えて今度こそは浄土に生まれて来いよ、さとりのお念仏に成つてくれよとの阿弥陀さまのご催促といただきます。

オギャーとこの世に産声をあげて六十年、還相の仏さま方に導かれ有縁の皆さんにお育ていただき毎日です。おかげさまで還暦を迎えることができました。



住職還暦記念に
書籍を寄贈しました
折々に法味愛読しましょう
(あんのん館)

あんのん「しんらん文庫」

お朝事にお参りしましょう
△毎朝6時30分〜7時▽

今日は二時から「住職還暦ありがとう法座」をお勤めします。よろこびの仏事です。御恩報謝の心いつばいに、皆さんと一緒にお念仏申して、今日からまたお浄土への人生を共に歩ませてくださいと思います。
(10月3日)

子どもの声が聞こえるお寺、元気です!!

第32回サマースクール



小学生27名、中大学生リーダー6名が参加しました (8月2日~3日)

私たちも元気でエー



仏教婦人会の手作りのお弁当に合掌、食前の言葉「いただきます」

敬老会



なつかしい童謡唱歌をみんなで大きな声で歌いました

(10月1日)



室内オリンピックのようす「ガンバレ〜」応援にも熱が入ります (8月3日、本堂)



飯ごうでみんなで作ったカレーライスをおいしくいただきました (8月2日、中庭)



還暦を祝う会(8月15日) 昭和27年度生まれの皆さんが出席されました これからもお寺にお参りください



男衆の会サマー懇親会(7月26日) お寺のことを思うてくださる皆さんです お酒も入りにぎやかに盛りあがりました (桜クラブビヤガーデン)



三佐ぐるり一周早朝ウォーキング (7月21日) お寺に帰り、ラジオ体操をして お朝事のお勤めにお参りました

お茶の会お月見会

(上)すすきや団子、ふかしイモをお供えして (下)お茶の会メンバーによるお抹茶の接待をいただきました (10月30日)



あ と が き

新院が留守で、代わって月参りをする。久しぶりで何とも新鮮だ。「こんにちは、円光寺です」と言いながら、いつものようにお家のお内仏に直行。お勤めが済んでお茶をいただく。

どちらからともなく「ご無沙汰しています」。足腰が痛い、どこそこが悪くて病院通いに忙しいと、おばあちゃん。その声たるや実に若々しい。

そこで一言「ん、大丈夫!」。申し訳なさを「お寺にご無沙汰ですみません」とぼつり。

大丈夫、仏さまは見てござる。いつでもどこでも南無阿弥陀仏。